

大会参加にあたっての感染防止策チェックリスト

*次の各項目についてチェックしてください

参加者として遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（当日に書面で確認を行う）
 - 大会2週間前を含め体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（会話をする際にはマスクを着用すること）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- できるだけ大会中に大きな声で会話、応援等をひかえること
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること

競技を行う際の留意点

- 十分な距離の確保
 - 競技していない間も、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること
 - マスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をすることがあること（※）感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。
- マスク等の準備
 - 受付等の競技を行っていない間、特に会話する時には、マスクを着用すること
 - マスク（特に外気を取り込みにくいN95などのマスク）を着用して競技を行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることに留意すること
- 飲食については、待機場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- ゴミはすべて持ち帰ること。